

第1分科会：河川改修等（河道掘削等）における工夫事例

No.	題名	地方ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要	主な関係者
					河川の流域面積	河川分類	整備計画流量	セグメント		機関	部・事務所		
1	網走川における川の営力を活かした川づくり	北海道	網走川水系網走川	補助(1級)	1380 km ²	中小河川	350m ³ /s	M	アト トシネ 阿戸 理樹	北海道	オホーツク総合振興局網走建設管理部事業課	・河道掘削による治水安全度の向上を図るとともに、河床が安定する低水路幅を検証、在来河床の保全・維持に努めている。	(地域の関係団体) 網走川流域多自然川づくりに関する検討会
2	江戸川 玉葉橋付近の河道掘削について ～江戸川内の自然遷移と人為的改変～	関東	利根川水系江戸川	直轄(1級)	200 km ²	大河川	5300m ³ /s	2-2	マツモト ダイ 松本 在	関東地方整備局	江戸川河川事務所	・平成24年報告の続報 ・江戸川河川事務所を取り組む多自然川づくりについて、継続調査で得られた結果を受けて、平成24年報告の修正報告・大きな遷移のない大河川における、自然環境の変遷、実施してきた対応策のその後の変化を事例で紹介。今後、人為的改変を持続的に行う方針としていく。	国土交通省江戸川河川事務所 地域) 江戸川河川 環境保全モニター 田中氏 埼玉県生態系保護協会 調査関係者 (株) 建設環境研究所
3	希少魚類ミズハゼ類の保全を目的とした工事施工時における工夫事例	中部	安倍川水系 安倍川	直轄(1級)	567 km ²	大河川	4900m ³ /s (W=1/50)	1	クマモリ キョウコ 熊切 恭子	中部地方整備局	静岡河川事務所	河道掘削事業における希少魚類の保全対策	(関係団体) ・安倍川大井川希少魚類保全対策連絡会 (調査設計関係者) ・(株)環境アセスメントセンター (工事関係者) ・静岡建設業協会の受注業者
4	千曲川中流域における自然再生事業とモニタリング計画の検討	北陸	信濃川水系千曲川	直轄(1級)	7163 km ²	大河川	4000m ³ /s (W=1/50)	1	キムラ マサミ 木村 将海	北陸地方整備局	千曲川河川事務所	自然再生事業として千曲川中流域において砂礫河原再生のための河道掘削は計画に沿って実施しているところであるが、施工及び現地状況に応じて適宜検討が必要であることから、関係者に設計の意図を丁寧に説明して進めている。	(学識者・有識者) 千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会 (調査設計関係者) パシフィックコンサルタンツ株式会社
5	豊川流域におけるネコギギ保全のための環境改善および地域保全の取り組み	中部	豊川水系	直轄(1級)	724 km ²	大河川	910m ³ /s (W=1/30)	M	イツバ シンゴ 磯部 真悟	中部地方整備局	設楽ダム工事事務所	・豊川流域に生息する天然記念物のネコギギについて、その個体群が存続可能となるような環境改善手法を検討し実施している。また、地域保全の観点からの各種取組についても検討・実施している。	(調査設計関係者) 一般財団法人水源環境センター 株式会社建設環境研究所 いであ株式会社 (工事関係者) 有限会社芦沢建設
6	一級河川日野川水系野上川での河川整備における工夫	中国	日野川水系野上川	補助(1級)	48.3 km ²	中小河川	130m ³ /s	1	スギモト サキ 杉本 紗季	鳥取県	西部総合事務所 米子県土整備局	・既存河川の制約条件に応じた河川改修と河川環境及び生物移動環境の両立。 ・既存の露頭岩を活用した緩傾斜落差工と低水路工（魚道工）の施工。 ・既存の水棲生物（オオサンショウウオ）に配慮した魚巣ブロックの選定・施工。	(有識者) 国立大学法人鳥根大学 元教授 松野氏 (地域の関係団体) 鳥取県教育委員会 伯耆町教育委員会 (調査設計関係者) サンイン技術コンサルタント株式会社 (現 株式会社エスジーズ) (工事関係者) 有限会社やまね、有限会社中島工業、株式会社赤松産業、他
7	物部川における段階的な高水敷整備について	四国	物部川水系物部川	直轄(1級)	508km ²	大河川	4,200m ³ /s	1	モリモト タカミツ 森本 敬光	四国地方整備局	高知河川国道事務所	・高水敷の段階施工とすることで、土砂の堆積・侵食を許容した順応的な整備。 ・護岸全面の流速を減少させ、洪水時の河川生物の避難場所を創出。	(地域の関係団体) 物部川漁協 (アドバイザー・コンサルタント) 近自然河川研究所 (工事関係者) ミタニ建設工業株式会社